

オリーブに初めて実がつけました

玄関前にあるオリーブの木に実がなりました。この木は、平成6年ごろに通信制が修学旅行に行ったときに、四国から持ち帰り植えたものです。

夜間制の糠森先生が、「初めて実がなったのを見ました。」と春の頃から教えてくれました。実の色を表す「オリーブ色」ですが、この実はまだライム色だと思います。秋の深まりとともに色が変わるでしょうか。

来校されるPTAや同窓会の役員の方々に、まだ小さな実のことをお知らせしてきました。9月24日の50周年委員会からの帰りには、下の実を見て、とても喜んで下さりました。学校のことを良く理解して下さる、素敵な役員の方々に、大いに助けられています。

去年すっきり剪定したモミジバフウなども、夏の間をしっかり葉をつけ、今年も彩りのある紅葉が見られそうです。お色直しをした玄関で、50周年式典を迎えます。

